

事務連絡
令和7年3月12日

各都道府県 旧優生保護法補償金等 担当課 御中

こども家庭庁成育局母子保健課

旧優生保護法補償金の支給の請求における事実婚関係の
証明に必要な書類について（補足）

平素より、こども家庭行政に御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

旧優生保護法補償金等の支給の請求において必要となる添付書類等については、「旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者等に対する補償金等の支給等に関する法律」に基づく補償金等の請求等に関する事務の取扱いについて（通知）」（令和7年1月17日付けこ成母第38号こども家庭庁成育局母子保健課長通知）でお示ししているところです。

このうち、事実婚関係の証明に必要な書類について、下記の通りお示ししますので、ご配慮を賜りますようよろしくお願いいたします。

記

○ 事実婚関係の証明に必要な書類

次の（１）～（３）の書類を提出すること。

（１）事実婚関係に関する申立書（補償金請求用）（様式１）

当時の婚姻の意思についての当事者それぞれの申立を記載すること（様式１の１）。

また、優生手術等を受けた者（以下「本人」という。）が死亡している場合や現在既に関係を解消しており、当事者からの申立を得ることが困難な場合にあっては、当該者に係る婚姻の意思についての第三者の証言及び証言に虚偽の内容がないことの誓約を記載すること（様式１の４）。

（２）同一世帯に属していたことを証明する住民票の写し

（３）（２）の提出が困難な場合は、事実婚関係証明の参考となる書類

次のア、イに掲げる資料のいずれかに加えて、同居についての申立（様式１の２）及び請求者と本人が同居していたことに関する２名以上の第三者による証言及び証言の内容に虚偽の内容がないことの誓約を記載すること（様式１の４）。

また、当時、事実婚関係にあった者と別居していた場合は、別居についての申立（様式１の３）及び第三者による証言及び証言の内容に虚偽の内容がないことの誓約を記載すること（様式１の４）。

ア 扶養の事実を証明する書類（扶養証明書の写し、遺族年金証書の写し等）

イ 以下に掲げる書類（提出できるもの全て）

以下に掲げる書類に加えて、第三者による証言として、夫婦として共同生活を営んでいたことに関する証言（様式1の4）を記載すること。

（ア）結婚式場等の証明書又は挙式、披露宴等の実施を証する書類

（イ）本人の葬儀を主催したことを証する書類（会葬御礼の写し等）

（ウ）その他事実婚関係の証明の参考となる書類（例）

- ・ 宛先住所・宛名の記載や消印がある連名の郵便物の写し
- ・ 公共料金の領収証（内縁の夫（妻）が、内縁の妻（夫）の公共料金を負担しているもの）の写し
- ・ 生命保険の保険証の写し
- ・ 未納分の税の領収証（内縁の夫（妻）に未支払の市民税等があり、当該夫（妻）の死亡後に内縁の妻（夫）が支払ったもの）の写し
- ・ 賃貸借契約書（入居者の続柄に「見届けの妻」、「婚約者」、「内縁」等と記載されているもの）の写し
- ・ 定期的な送金があった事実を確認できる書類（預金通帳、振込明細書又は現金書留封筒等）の写し

(様式1)

事実婚関係に関する申立書 (補償金請求用)

1 婚姻の意思を有し、夫婦として共同生活を営んでいたことについての申立

下記①の者と下記②の者は、戸籍上の婚姻関係にはありませんが、当時婚姻の意思があり、③の期間において、夫婦としての共同生活を営んでいました。

①氏名 _____ 住所 _____

②氏名 _____ 住所 _____

③明治・大正・昭和・平成 ____年 ____月 ____日・頃
～ 明治・大正・昭和・平成・令和・請求日現在 ____年 ____月 ____日・頃

2 同居についての申立

上記①の者と上記②の者は、次の期間において、同居していました。

明治・大正・昭和・平成 ____年 ____月 ____日・頃
～ 明治・大正・昭和・平成・令和・請求日現在 ____年 ____月 ____日・頃

<同居が短期間であった理由 (同居が1年未満であった場合のみ) >

.....
.....
.....
.....
.....

3 別居についての申立

上記①の者と上記②の者は、夫婦としての共同生活を営んでいた期間のうち、次の期間においては、別居していましたが、その理由は次のとおりです。

明治・大正・昭和・平成 ____年 ____月 ____日・頃
～ 明治・大正・昭和・平成・令和・請求日現在 ____年 ____月 ____日・頃

<上記期間に別居していた理由>

.....
.....
.....
.....
.....

(次ページにお進みください)

4 第三者による証言

<証言 1>

(※該当する証言にチェック)

- 同居に関する証言 婚姻の意思に関する証言 別居の理由に関する証言
 夫婦として共同生活を営んでいたことに関する証言

上記①の者と②の者の関係について、私が把握している事実は、次のとおりです。また、私は上記①及び②の者の民法上の三親等内の親族ではなく、次の証言に虚偽はありません。

.....
.....
.....

氏名 _____ 住所 _____

<証言 2>

(※該当する証言にチェック)

- 同居に関する証言 婚姻の意思に関する証言 別居の理由に関する証言
 夫婦として共同生活を営んでいたことに関する証言

上記①の者と②の者の関係について、私が把握している事実は、次のとおりです。また、私は上記①及び②の者の民法上の三親等内の親族ではなく、次の証言に虚偽はありません。

.....
.....
.....

氏名 _____ 住所 _____

<証言 3>

(※該当する証言にチェック)

- 同居に関する証言 婚姻の意思に関する証言 別居の理由に関する証言
 夫婦として共同生活を営んでいたことに関する証言

上記①の者と②の者の関係について、私が把握している事実は、次のとおりです。また、私は上記①及び②の者の民法上の三親等内の親族ではなく、次の証言に虚偽はありません。

.....
.....
.....

氏名 _____ 住所 _____

<証言 4 >

(※該当する証言にチェック)

- 同居に関する証言
- 婚姻の意思に関する証言
- 別居の理由に関する証言
- 夫婦として共同生活を営んでいたことに関する証言

上記①の者と②の者の関係について、私が把握している事実は、次のとおりです。また、私は上記①及び②の者の民法上の三親等内の親族ではなく、次の証言に虚偽はありません。

.....
.....
.....
.....
.....

氏名 _____ 住所 _____

5 備考（補足説明したい事項がある場合のみ、記載してください。）

.....
.....
.....
.....
.....